

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 運動療育型児童デイ ぽぷらの樹 南住吉

公表日 令和7年 5月 1日

利用児童数 30名

回収数 25名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	3			活動できるスペースはあると思う。 走り回るには狭いと感じた。	限られたスペースの中で楽しく活動できる工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25				数名いてるので安心している。	適性の人数で支援していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	5			活動と学習の場が同じなのが少し気になる。	集中できる設備や環境整備を検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25				清掃や衛生面はきちんとなされていると思う。	感染対策、清潔な環境作りに努めていることを周知していく。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25				子どもの出来る範囲で活動で支援してくれている。	1人ひとりに適切な支援の向上に努めていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		5		20	支援プログラムを見たことがない。	ホームページにて公表していることをもっと保護者に周知していく。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25				ニーズや困りごとに沿った目標で作成してくれている。	成長に伴って変化するニーズや課題を聞き取り適切な支援計画を作成していく
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	10		14	良く分からない事があるが、聞いたことはある。	保護者に対してガイドラインの存在、それに沿って支援内容が設定される旨を周知していく
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25				個別支援計画に沿って支援してくれている。	モニタリングして、達成できる支援内容に変更の検討し適切な支援を行っている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25				運動もレベルアップしたり活動内容も新しい活動を取り入れている。	子どもや保護者様の要望を聞いて、楽しみながらも出来るを増やせる活動を検討していく。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		5		20	参加してことが無いので分からない。	今後は地域のこどもとの交流機会を設けられるよう努めていく。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25				支援プログラムは見たことがないから分からない。 利用負担などの説明はあった。	利用途中で新たにできたものについては、都度説明する機会を設けて、不明なことがないようにしていく。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25				変更があれば対応してくれる。	保護者様が納得してもらえるよう作成や変更を行っていく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		15	5	5	家族への研修は聞いたことがない。 あるかもしれないがわからない。	より専門的にアドバイスや学びの機会を提供できるよう検討していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25				体調や様子についての情報共有はできている。	保護者からの伝達内容の全スタッフへ周知、様子観察をしっかり行い、体調の異変があれば連絡するようにしている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25				家庭での様子や困り事を伝えている。 懇談時に課題の共有ができている。 いつでも話を聞いてもらえる。	懇談にて様子やニーズの変化を聞き取り、悩み等の相談に応じているが、懇談以外でも相談、助言は都度対応していく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25				要望に対応してもらっている。	子どもや保護者様の思いを共感的姿勢で信頼を失わないよう支援していく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		10		15	保護者同士の交流の場があるのか分からない。	保護者同士の交流、きょうだい同士の交流の機会が設けられるよう検討していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25				送迎時など時間を作ってもらい対応してくれている。	保護者が相談しやすい体制作りを行い、困ったままにならないようにする。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25				連絡帳などで把握できる。	連絡著や送迎時に情報伝達、確認を継続していく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25				SNSやLINE、対面でお知らせしてくれている。	SNSやホームページで情報発信していることをもっと周知していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25				管理してくれていると思う。	鍵付きロッカーに保管し安易に見れないようにして鍵も特定の者が管理している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15			10	マニュアルはあると思うが見たことがない。	保護者様にマニュアルの策定がなされていることの周知を行い安心してもらえるようにしていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25				避難訓練はしている。	年2回の災害訓練と消防署員を招いての消防訓練、活動の中で避難訓練に繋がる取り組みを行っており継続していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25				安全には気を付けていると思う。	お子様を預かっているということを様々な安全対策で示し、保護者に安心、信頼してもらえよう努めていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25				送迎時などに状況を報告してくれている	事故や怪我の発生状況は速やかに詳細を伝達し、その後の様子確認も行い、不安や不信任に繋がらないようにしていく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25				ストレスの発散ができています。 第二の家のように過ごせている。	個々の子どもの特性に合わせた柔軟な対応で、今後も安心感を持って通ってもらえるよう努めていく
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25				予定表やカレンダーを見て楽しみにしている。 帰ってきたら出来事を話してくれる。	安心できる場所、楽しい場所として毎回通所を楽しみしてもらえよう、活動プログラムの工夫、適切な関り、ニーズへの対応を行っていく
	29	事業所の支援に満足していますか。	25				できることが増え、体幹が強くなった。 子どもがやる気になってくれた。	ニーズにしっかり応えながら成長を促せるよう支援を行い、満足度向上に努めていく